



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月18日

上場会社名 大成ラミック株式会社
 コード番号 4994 URL <https://www.lamick.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 義成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレートユニットリーダー (氏名) 北條 洋史

TEL 0480-88-1158

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

配当支払開始予定日

2020年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	26,495	2.0	1,760	21.2	1,728	16.1	1,105	13.1
2019年3月期	27,049	5.4	1,452	10.2	1,489	10.2	977	29.2

(注) 包括利益 2020年3月期 769百万円 (5.2%) 2019年3月期 811百万円 (47.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	159.54		5.5	5.9	6.6
2019年3月期	141.07		5.0	5.0	5.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	29,135	20,772	69.5	2,922.37
2019年3月期	29,712	20,484	66.8	2,865.02

(参考) 自己資本 2020年3月期 20,246百万円 2019年3月期 19,843百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,478	783	966	4,724
2019年3月期	1,932	613	929	2,987

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		33.00		37.00	70.00	486	49.6	2.5
2020年3月期		33.00		37.00	70.00	486	43.9	2.4
2021年3月期(予想)		33.00		37.00	70.00		47.1	

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,310	0.7	1,480	16.0	1,530	11.5	1,030	6.8	148.66

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料14ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	7,047,500 株	2019年3月期	7,047,500 株
期末自己株式数	2020年3月期	119,352 株	2019年3月期	121,502 株
期中平均株式数	2020年3月期	6,927,319 株	2019年3月期	6,925,998 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員向け株式交付信託及び株式給付信託型ESOPの信託財産として保有する当社株式が、2019年3月期には29,578株、2020年3月期には27,428株を含めております。

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	24,954	2.2	1,983	15.0	1,964	11.4	1,344	8.5
2019年3月期	25,504	5.7	1,725	8.0	1,763	6.8	1,238	7.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	194.09	
2019年3月期	178.85	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2020年3月期	27,465	71.4	19,604	71.4			2,829.73	
2019年3月期	27,296	68.7	18,740	68.7			2,705.81	

(参考) 自己資本 2020年3月期 19,604百万円 2019年3月期 18,740百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	16
役員の異動	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善がみられ、緩やかな景気回復傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により足元で大幅に下押しされており、国内はもとより世界経済に与える影響や金融資本市場の変動に一層留意する必要があります。

当軟包装資材業界におきましては、ライフスタイルの変化に伴う新たな包装形態に対し底堅い需要はあるものの、原油価格の変動による原材料価格への影響、天候不順による機会損失、環境問題を背景に脱プラスチック等の対応、流通業界でのフードロス削減に伴う供給量の最適化や賞味期限延長への取り組み等が顕在化し影響を受け始めております。

このような状況下、当社グループのビジネスモデルである「フィルム・液体充填機DANGAN・オペレーション」をワン・ストップで提供する体制を一層推進するため、国内では仙台営業所を移転しDANGANデモルームを併設、海外では東アジアでのさらなる拡販とSE体制の現地化を目的に韓国支店を開設いたしました。また、販売面では市場環境の変化から数量が伸び悩む中、前期より取り組んでおりました販売価格の見直し効果が徐々に表れ、生産面では働き方改革に伴う生産体制の見直しやコスト削減活動等により、収益確保に努めました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高は26,495百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は1,760百万円（同21.2%増）、経常利益は1,728百万円（同16.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,105百万円（同13.1%増）となりました。

部門別概況は以下のとおりであります。

[包装フィルム部門]

国内市場においては、夏物商品の出足が好調となりましたが、その後の天候不順や市場環境の変化により前年同期の売上高を下回りました。海外市場においては、世界各所で経済・貿易の不透明感が増す中、為替における円高進行等の影響があったものの、前期に新工場の稼働を開始したTaisei Lamick Malaysia Sdn. Bhd.の業績が改善し、前年同期の売上高を上回りました。

その結果、売上高は23,977百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

なお、包装フィルム部門において、新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響は軽微であります。

[包装機械部門]

包装機械部門においては、国内外の展示会への出展及び新規顧客の開拓等、積極的な営業活動に取り組みましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い商談及び設置時期が遅延したこと等により販売台数が減少した結果、売上高は2,518百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比べ576百万円減少し、29,135百万円となりました。

このうち流動資産合計は、前連結会計年度末と比べ118百万円減少し、14,430百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,432百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が976百万円、商品及び製品が382百万円、仕掛品が157百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は、前連結会計年度末と比べ457百万円減少し、14,705百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が133百万円増加した一方で、機械装置及び運搬具(純額)が349百万円、建物及び構築物(純額)が233百万円減少したことによるものです。

② 負債

当連結会計年度末における総負債は、前連結会計年度末と比べ865百万円減少し、8,363百万円となりました。

このうち流動負債合計は、前連結会計年度末と比べ656百万円減少し、7,333百万円となりました。これは主に、未払法人税等が129百万円増加した一方で、買掛金が495百万円、短期借入金が163百万円、1年内返済予定の長期借入金が106百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は、前連結会計年度末と比べ208百万円減少し、1,030百万円となりました。これは主に、長期借入金が182百万円減少したことによるものです。

③ 純資産

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末と比べ288百万円増加し、20,772百万円となりました。

これは主に、為替換算調整勘定が180百万円、非支配株主持分が114百万円減少した一方で、利益剰余金が618百万円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ1,736百万円増加し、4,724百万円となりました。

当連結会計年度における連結キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,478百万円(前年同期比80.0%増)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,695百万円、減価償却費1,227百万円、売上債権の減少額955百万円、たな卸資産の減少額529百万円等であります。

支出の主な内訳は、法人税等の支払額539百万円、仕入債務の減少額476百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は783百万円(前年同期比27.7%増)となりました。

これは主に、生産設備更新等に伴う有形固定資産の取得による支出967百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は966百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

収入の主な内訳は、海外連結子会社資金調達等に伴う長期借入れによる収入800百万円、短期借入れによる収入600百万円等であります。

支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出1,088百万円、短期借入金の返済による支出756百万円、配当金の支払額486百万円等であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	65.5	66.8	69.5
時価ベースの自己資本比率(%)	73.6	64.4	60.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	74.4	117.3	51.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	275.9	323.4	425.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に企業活動や消費が停滞する中、内外経済をさらに下振れさせるリスクが顕在化しており、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主力とする食品業界においては、従来からの大型小売店を中心とした流通の再編や少子高齢化社会の到来に加え、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための外出自粛要請により、内食・中食の増加に伴い簡便調理が可能な食品が堅調に推移しております。

一方、社会的課題として、食品の廃棄ロス低減に向けた取り組みや廃プラスチックによる環境汚染問題等から、より環境に配慮した包装形態への工夫による環境負荷低減活動が引き続き求められる傾向にあります。

このような状況下、国内市場においては、競争優位性のある商品開発や付加価値の高いサービス提供が求められており、今後もより一層その傾向に拍車がかかることが予想されます。継続的にお客様のニーズをはじめとする情報を集約することで、時代の変化や消費者行動の変化に強い企業基盤の確立を目指すとともに、グループ全体の収益基盤として当社の強みである液体小袋を軸に安定的な収益性の確保に繋げてまいります。また、収益性を重視した生産体制の実現のため、人員配置の最適化を行い、効率的な生産体制を確立しコストマネジメントの徹底を図ってまいります。海外市場においては、新たな成長戦略の柱として位置づけ、各市場に則した液体充填機及びフィルムの開発の推進に加え、米州地域でのフィルム販売網の拡充と売上拡大の諸施策の展開、東アジア地域では、韓国支店を主軸としたさらなる拡販とSE体制の現地化によるサービスの向上、ASEAN地域では、現地の液体包装市場の実態に合わせたローカル戦略の構築・推進を行ってまいります。

このように収益性を確保しつつ新たな施策への投資を積極的に行っていくことを方針とし、次期の連結業績の見通しは、売上高26,310百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益1,480百万円（同16.0%減）、経常利益1,530百万円（同11.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1,030百万円（同6.8%減）を予定しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、当社グループの海外展開及び株主構成並びに新たなIFRS（国際財務報告基準）適用会社の動向等を踏まえ、IFRS適用時期について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,351,487	4,784,196
受取手形及び売掛金	7,438,454	6,461,603
商品及び製品	2,210,858	1,828,246
仕掛品	966,900	808,929
原材料及び貯蔵品	335,429	318,277
未収消費税等	41,935	—
その他	204,118	229,003
流動資産合計	14,549,184	14,430,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,244,348	11,270,012
減価償却累計額	△4,856,922	△5,115,704
建物及び構築物(純額)	6,387,426	6,154,308
機械装置及び運搬具	9,237,301	9,352,249
減価償却累計額	△7,017,923	△7,482,491
機械装置及び運搬具(純額)	2,219,377	1,869,758
工具、器具及び備品	1,568,307	1,648,150
減価償却累計額	△1,173,704	△1,259,341
工具、器具及び備品(純額)	394,602	388,809
土地	4,950,810	4,912,734
リース資産	427,755	348,313
減価償却累計額	△296,922	△235,522
リース資産(純額)	130,833	112,790
使用権資産	—	16,092
減価償却累計額	—	△7,339
使用権資産(純額)	—	8,753
建設仮勘定	3,240	136,768
有形固定資産合計	14,086,292	13,583,922
無形固定資産		
のれん	8,250	4,854
ソフトウェア	97,754	118,920
その他	87,934	87,422
無形固定資産合計	193,938	211,197
投資その他の資産		
投資有価証券	435,493	420,288
長期貸付金	1,064	769
退職給付に係る資産	93,265	15,869
繰延税金資産	241,134	273,747
その他	122,543	214,902
貸倒引当金	△10,715	△15,348
投資その他の資産合計	882,786	910,228
固定資産合計	15,163,017	14,705,347
資産合計	29,712,201	29,135,605

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,444,781	3,948,928
短期借入金	163,140	—
1年内返済予定の長期借入金	998,685	892,560
リース債務	47,760	52,498
未払金	877,285	774,293
未払法人税等	320,719	449,926
未払消費税等	122,995	222,500
賞与引当金	469,751	490,168
役員賞与引当金	24,930	31,120
株主優待引当金	72,388	71,913
その他	446,886	399,181
流動負債合計	7,989,323	7,333,090
固定負債		
長期借入金	964,628	781,793
リース債務	92,605	77,542
繰延税金負債	12,541	19,262
執行役員退職慰労引当金	4,096	—
従業員株式給付引当金	29,508	31,100
役員株式給付引当金	30,360	38,010
退職給付に係る負債	48,682	58,029
その他	56,429	24,265
固定負債合計	1,238,852	1,030,003
負債合計	9,228,175	8,363,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,426,246	3,426,246
資本剰余金	3,403,601	3,403,601
利益剰余金	13,126,852	13,745,164
自己株式	△298,235	△291,918
株主資本合計	19,658,464	20,283,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,179	111,471
繰延ヘッジ損益	△45	△89
為替換算調整勘定	92,944	△87,564
退職給付に係る調整累計額	△19,386	△60,291
その他の包括利益累計額合計	184,691	△36,475
非支配株主持分	640,869	525,892
純資産合計	20,484,026	20,772,511
負債純資産合計	29,712,201	29,135,605

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	27,049,369	26,495,946
売上原価	20,991,521	20,110,851
売上総利益	6,057,847	6,385,095
販売費及び一般管理費	4,604,968	4,624,197
営業利益	1,452,879	1,760,897
営業外収益		
受取利息	22,591	20,987
受取配当金	7,829	8,808
物品売却益	21,507	16,190
受取補償金	8,343	7,662
雑収入	16,869	22,673
営業外収益合計	77,141	76,322
営業外費用		
支払利息	5,958	8,120
売上割引	1,108	1,162
支払補償費	6,354	40,298
為替差損	23,901	55,114
雑損失	3,194	3,545
営業外費用合計	40,517	108,241
経常利益	1,489,503	1,728,979
特別利益		
固定資産売却益	5,969	6,771
投資有価証券売却益	—	12,352
特別利益合計	5,969	19,123
特別損失		
固定資産売却損	—	1,005
固定資産除却損	13,745	16,625
投資有価証券評価損	27,222	13,048
特別退職金	—	22,151
特別損失合計	40,967	52,830
税金等調整前当期純利益	1,454,504	1,695,272
法人税、住民税及び事業税	588,034	669,190
法人税等調整額	△15,363	△8,201
法人税等合計	572,671	660,988
当期純利益	881,833	1,034,283
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△95,239	△70,918
親会社株主に帰属する当期純利益	977,073	1,105,202

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	881,833	1,034,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,849	291
繰延ヘッジ損益	△41	△43
為替換算調整勘定	△43,579	△224,568
退職給付に係る調整額	19,723	△40,905
その他の包括利益合計	△70,746	△265,225
包括利益	811,086	769,058
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	917,271	884,035
非支配株主に係る包括利益	△106,185	△114,977

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,426,246	3,403,601	12,636,669	△298,235	19,168,281
当期変動額					
剰余金の配当			△486,890		△486,890
親会社株主に帰属する当期純利益			977,073		977,073
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	490,182	—	490,182
当期末残高	3,426,246	3,403,601	13,126,852	△298,235	19,658,464

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	158,029	△4	125,578	△39,109	244,493	747,054	20,159,829
当期変動額							
剰余金の配当							△486,890
親会社株主に帰属する当期純利益							977,073
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△46,849	△41	△32,633	19,723	△59,801	△106,185	△165,986
当期変動額合計	△46,849	△41	△32,633	19,723	△59,801	△106,185	324,196
当期末残高	111,179	△45	92,944	△19,386	184,691	640,869	20,484,026

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,426,246	3,403,601	13,126,852	△298,235	19,658,464
当期変動額					
剰余金の配当			△486,890		△486,890
親会社株主に帰属する当期純利益			1,105,202		1,105,202
自己株式の処分				6,317	6,317
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	618,312	6,317	624,629
当期末残高	3,426,246	3,403,601	13,745,164	△291,918	20,283,094

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	111,179	△45	92,944	△19,386	184,691	640,869	20,484,026
当期変動額							
剰余金の配当							△486,890
親会社株主に帰属する当期純利益							1,105,202
自己株式の処分							6,317
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	291	△43	△180,509	△40,905	△221,167	△114,977	△336,144
当期変動額合計	291	△43	△180,509	△40,905	△221,167	△114,977	288,485
当期末残高	111,471	△89	△87,564	△60,291	△36,475	525,892	20,772,511

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,454,504	1,695,272
減価償却費	1,314,637	1,227,132
のれん償却額	3,003	2,883
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△273	4,633
賞与引当金の増減額(△は減少)	35,092	21,841
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	6,190
株主優待引当金の増減額(△は減少)	3,863	△475
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△546	△4,096
従業員株式給付引当金の増減額(△は減少)	9,000	1,591
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	6,210	7,650
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,330	9,346
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	28,952	18,876
受取利息及び受取配当金	△30,421	△29,796
支払利息	5,958	8,120
為替差損益(△は益)	2,875	9,682
有形固定資産売却損益(△は益)	△5,969	△5,766
有形固定資産除却損	13,605	16,307
無形固定資産除却損	140	318
投資有価証券評価損益(△は益)	27,222	13,048
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△12,352
売上債権の増減額(△は増加)	76,816	955,653
たな卸資産の増減額(△は増加)	△544,431	529,470
仕入債務の増減額(△は減少)	186,557	△476,686
未収消費税等の増減額(△は増加)	△3,249	40,300
未払消費税等の増減額(△は減少)	72,681	97,811
その他の流動資産の増減額(△は増加)	25,738	△29,995
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△137,630	△68,198
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△133	△4,498
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△31,057	△40,934
小計	2,522,477	3,993,331
利息及び配当金の受取額	28,242	33,105
利息の支払額	△5,973	△8,184
法人税等の支払額	△612,361	△539,489
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,932,384	3,478,764

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,088,648	△251,477
定期預金の払戻による収入	1,615,181	548,271
貸付金の回収による収入	280	287
有形固定資産の取得による支出	△1,100,934	△967,673
有形固定資産の売却による収入	7,603	18,966
無形固定資産の取得による支出	△34,662	△49,476
有形固定資産の除却による支出	△1,523	△2,674
投資有価証券の取得による支出	△8,532	△8,925
投資有価証券の売却による収入	—	23,773
その他	△2,378	△94,845
投資活動によるキャッシュ・フロー	△613,613	△783,774
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	163,320	600,000
短期借入金の返済による支出	—	△756,780
長期借入れによる収入	500,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△1,057,420	△1,088,960
セール・アンド・リースバックによる収入	16,981	23,088
リース債務の返済による支出	△65,895	△57,084
配当金の支払額	△486,890	△486,890
財務活動によるキャッシュ・フロー	△929,904	△966,626
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,776	8,134
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	392,643	1,736,497
現金及び現金同等物の期首残高	2,595,054	2,987,698
現金及び現金同等物の期末残高	2,987,698	4,724,196

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(I F R S 第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、当連結会計年度より、 I F R S 第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。

なお、当該会計基準の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(A S U 2014-09「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用している在外連結子会社は、当連結会計年度より、 A S U 2014-09「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。これにより、約束した財またはサービスが顧客に移転された時点で、当該財またはサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で収益を認識しております。

なお、当該会計基準の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

(役員向け株式交付信託及び株式給付信託型 E S O P について)

当社は、2015年6月17日開催の第50回定時株主総会において、中長期的な業績向上と企業価値の増大への貢献意欲を高めることを目的として、取締役(社外取締役を除く)を対象に役員向け株式交付信託を、また、2015年8月3日開催の取締役会において、一定以上の職位の従業員を対象に株式給付信託型 E S O P を決議し、導入いたしました。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として信託を設定し、信託を通じて当社株式の取得を行い、対象者に給付する仕組みであります。

役員向け株式交付信託については、取締役に対し、取締役株式交付規程に従って、その役位及び経営指標に関する数値目標の達成度に応じて付与されるポイントに基づき、信託を通じて当社株式を交付する仕組みであります。

株式給付信託型 E S O P については、一定以上の職位の従業員に対し、従業員株式給付規程に従って、その職位に応じて付与されるポイントに基づき、信託を通じて当社株式を給付する仕組みであります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により、純資産の部に自己株式として計上しております。

自己株式の帳簿価額及び株式数

前連結会計年度	88,010千円、29,578株
当連結会計年度	81,692千円、27,428株

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、包装フィルム及び液体充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	米州	合計
23,085,202	1,974,182	1,989,984	27,049,369

(注) 売上高は外部顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	マレーシア	米州	合計
11,039,377	2,984,405	62,508	14,086,292

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	米州	合計
22,345,811	2,150,099	2,000,035	26,495,946

(注) 売上高は外部顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	マレーシア	米州	合計
10,614,086	2,759,212	210,623	13,583,922

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社グループの事業は、包装フィルム及び液体充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,865円02銭	2,922円37銭
1株当たり当期純利益金額	141円07銭	159円54銭

(注) 1. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。

1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除した当該自己株式数

前連結会計年度 29,578株

当連結会計年度 27,428株

2. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり当期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数

前連結会計年度 29,578株

当連結会計年度 28,257株

3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	977,073	1,105,202
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	977,073	1,105,202
普通株式の期中平均株式数(株)	6,925,998	6,927,319

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

役員の異動につきましては、2020年3月2日付「代表取締役の異動（追加選任）および役員人事に関するお知らせ」をご参照ください。